

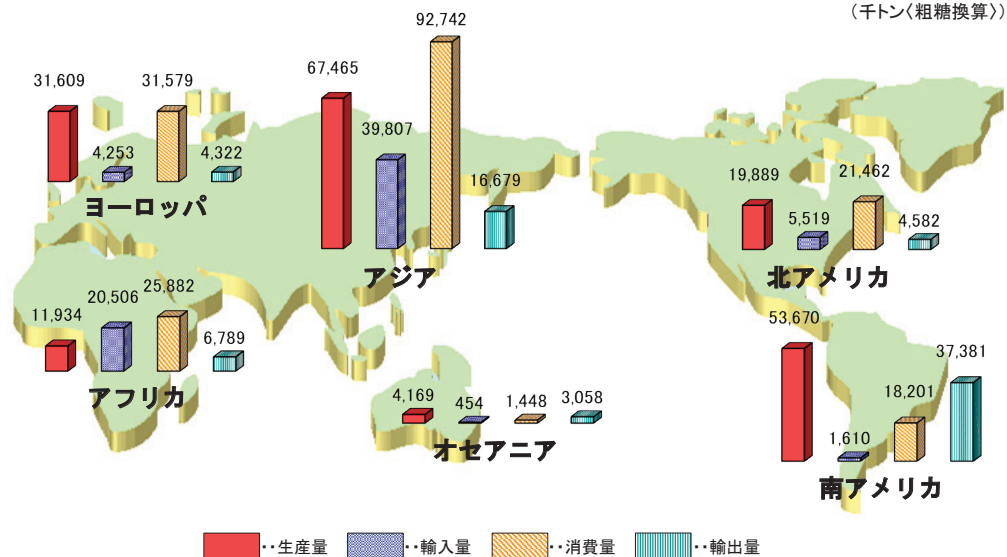


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2025年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2025」

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

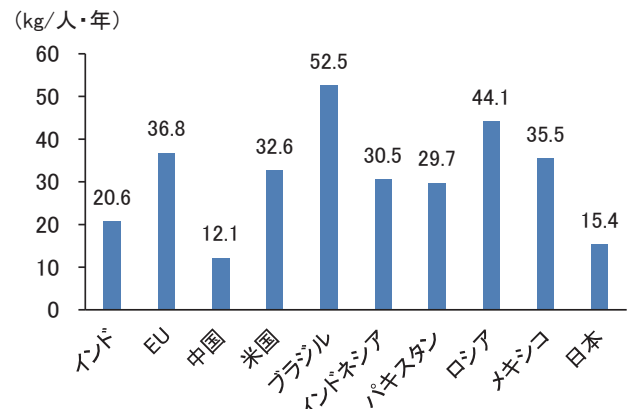
GlobalData UK Ltd.による2025年9月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2024/25砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億8874万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比3.6%減）とやや減少が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第2位のインドで減産が見込まれる一方、EU、中国およびタイでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9131万トン（同0.1%増）と前年度並みが見込まれている。消費量第2位の中国、同第3位のEUでは増加が見込まれているものの、同第1位のインドに加えて米国およびブラジルでは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から1.8ポイント減少し、42.2%と見込まれている。地域別の砂糖

需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：EUには、英国を含む。

注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,811	116,772	31,637	112,814	32,460	51,947	46.0
1999/00	68,474	133,241	36,641	127,777	39,769	70,810	55.4
2004/05	71,844	144,278	47,196	146,617	50,926	65,775	44.9
2009/10	65,134	159,905	55,849	164,372	56,130	60,386	36.7
2014/15	77,309	183,662	60,955	177,050	62,308	82,567	46.6
2019/20	91,985	181,845	69,534	182,794	71,597	88,973	48.7
2020/21	88,973	181,966	66,814	185,536	68,005	84,211	45.4
2021/22	84,211	186,377	69,340	188,690	71,058	80,179	42.5
2022/23	80,179	190,628	70,743	190,671	70,948	79,931	41.9
2023/24	79,931	195,726	76,235	191,115	76,722	84,055	44.0
2024/25 (2025年9月予測)	84,055	188,735	72,148	191,314	72,811	80,813	42.2

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2025」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

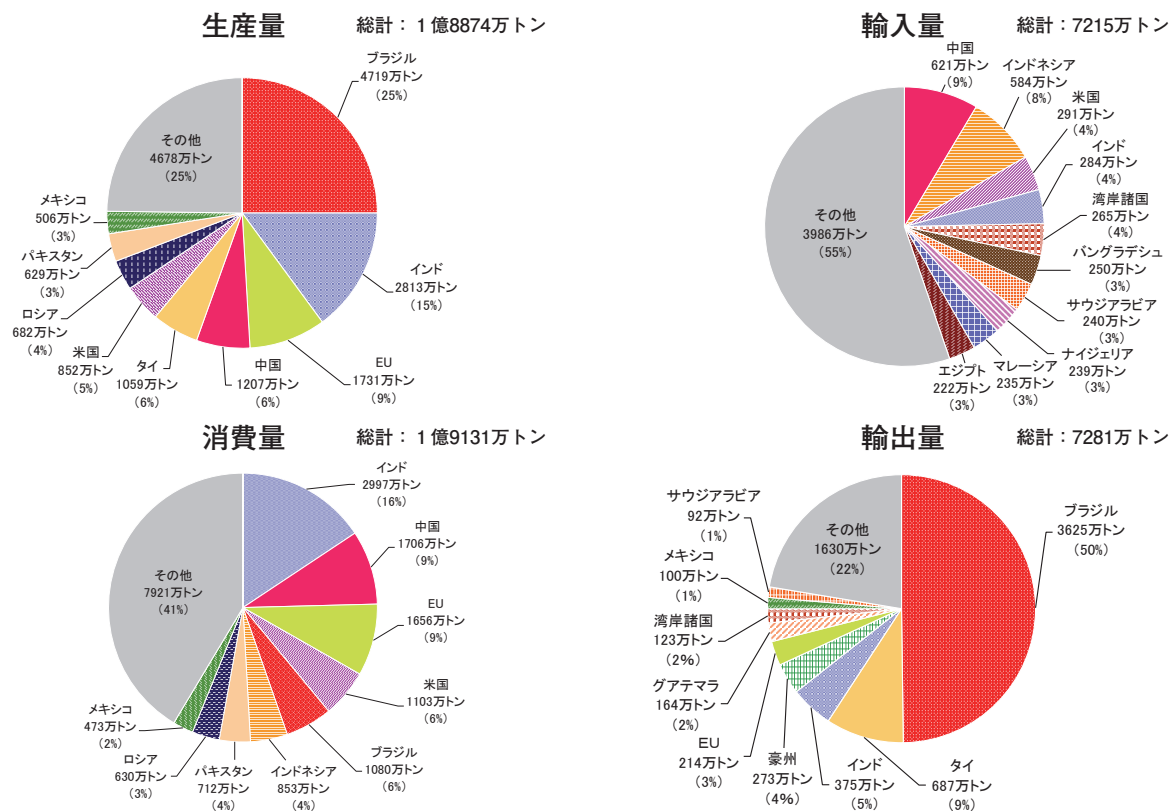
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2025年9月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

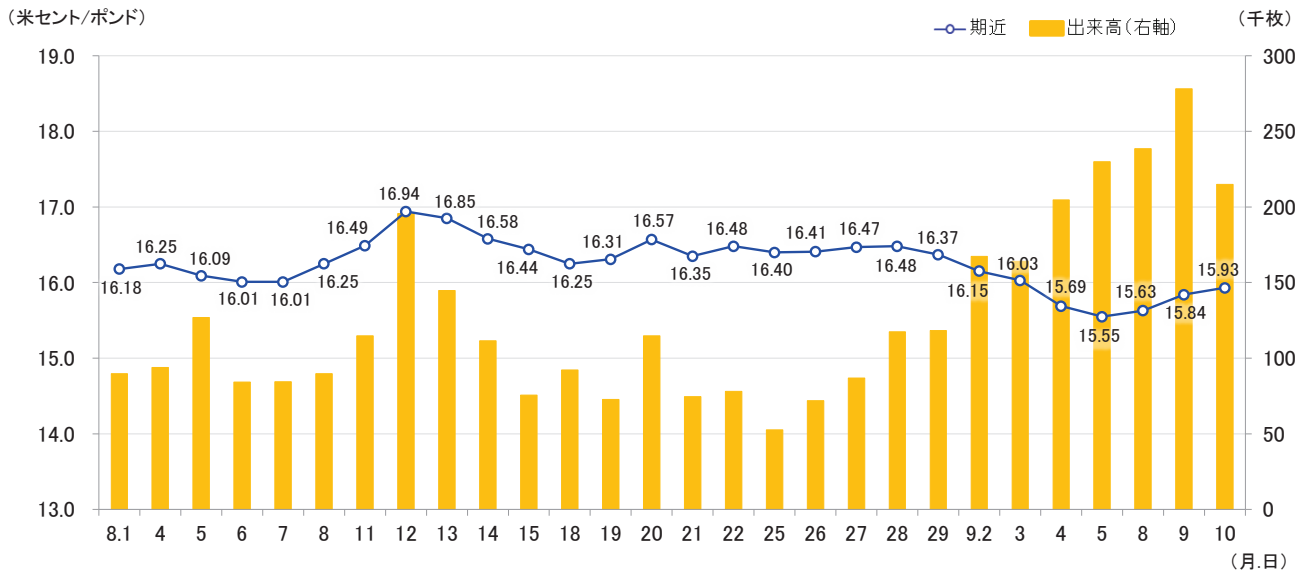
注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（8/1～9/10）

～8月は16セント台で推移するも9月はブラジルの増産見通しなどから15セント台に下落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近10月限の値。

2025年8月のニューヨーク粗糖先物相場（10月^がり限）の推移を見ると、1日はブラジルの増産見通しから1ポンド当たり16.18セント（注1）と前取引日から下落した。4日はパキスタンの砂糖需要増加で上昇するものの、5日以降はブラジルの増産見通しにより下落が続き、6日は同16.01セントまで値を下げた。8日以降はレアル高（注2）やブラジルの減産懸念が報じられたことから一転し、12日は同16.94セントまで上昇した。13日以降はロングポジション（注3）の清算とブラジルの増産見通しにより再び下落に転じ、18日は同16.25セントまで下落した。19日以降は世界的に砂糖需要の回復見込みで上昇し、20日は同16.57セントをつけたが、21日はインド産およびタイ産砂糖の輸出増加見通しから、同16.35セントと下落した。22日から28日にかけてはほぼ横ばいで推移し、29日は世界的な砂糖需要

が回復した一方で、ブラジルの増産見通しから、同16.37セントと下落した。

9月に入ると、2日以降はブラジルの増産見通しから下落が続き、4日に7月上旬以来となる15セント台を記録し、5日はさらに値を下げ同15.55セントをつけた。8日以降は原油高（注4）により上昇傾向となり、10日は同15.93セントまで値を上げた。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

（注3）将来の値上りを期待して買いの持ち高を取っている状態。

(注4) 一般に、原油価格が上昇すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も増加する。バイオエタノールの需要増加により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産への仕向けが増える一方、それらから生産される

食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が減ると想定される。食品用途仕向けの場合合いが小さくなるほど需給がひっ迫し、当該食品の価格を押し上げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年9月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：872万ha（前年度比1.4%減）
生産量：6億4150万トン（同5.5%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：4628万トン（同1.9%減）
輸出量：3548万トン（同2.1%減）

2025/26年度のサトウキビ生産量はやや、砂糖生産量はわずかな減少を見込む

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、1～3月の降水量が平均を下回ったことや圃場の更新により、872万ヘクタール（前年度比1.4%減）とわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、前年度の火災の影響のほか、年初からの干ばつ傾向に加え、6月と7月に中南部で局所的に発生した霜害などにより、単収が前年度を下回るとの見通しから、6億4150万トン（同5.5%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産およびサトウキビの歩留まり指標となるATR（注）の減少が見込まれ

る中、引き続き製糖企業によるサトウキビの砂糖仕向けの割合は高い状態にあるものの、4628万トン（同1.9%減）とわずかな減少が見込まれている。世界の砂糖相場が下落傾向にある中、同国では8月1日よりガソリンのエタノール30%混合（E30）が義務付けられており、今後のエタノール生産の動向が注目される。砂糖輸出量は、3548万トン（同2.1%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。

（注）1トン当たりの平均回収糖分。ポルトガル語で Açúcar Total Recuperável（総回収可能糖量）の略。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

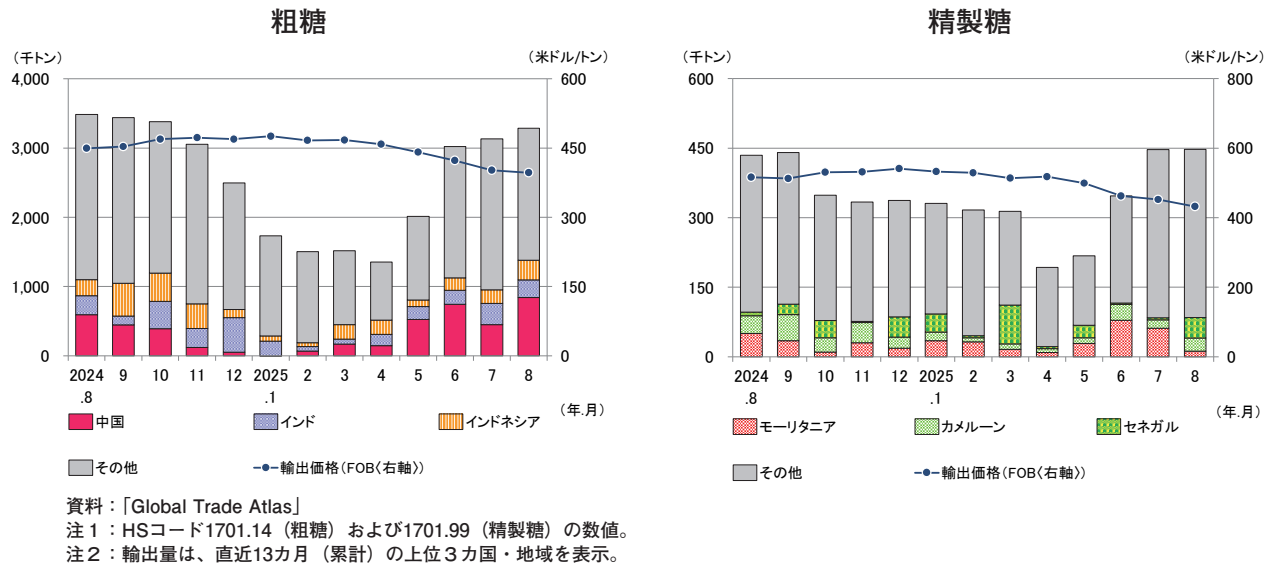
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （8月予測）	2025/26 （9月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		8,421	8,408	8,844	8,718	8,718	▲ 1.4
サトウキビ生産量		606,676	713,134	678,676	643,000	641,500	▲ 5.5
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,190	46,330	46,280	▲ 1.9
	輸入量	2	5	4	5	5	8.3
	消費量	10,924	10,965	10,800	10,864	10,800	0.0
	輸出量	28,888	37,393	36,246	35,526	35,479	▲ 2.1
	期末在庫量	2,455	3,422	3,570	3,516	3,576	0.2
期末在庫率		6.2	7.1	7.6	7.6	7.7	0.1ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 524万ha (前年度比5.4%減)
 生産量: 3億8985万トン (同12.1%減)

【砂糖 (甘しゅ糖)】

生産量: 2813万トン (同18.9%減)
 輸出量: 375万トン (同14.5%減)

2024/25年度の砂糖生産量は大幅に、輸出量はかなり大きく減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、主産地での競合作物への転作などから524万ヘクタール (前年度比5.4%減) とやや減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病 (red rot) (注) の影響により、3億8985万トン (同12.1%減) とかなり大きく減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの減産とエタノールへの転用により、2813万トン (同18.9%減) と大幅に減少し、17/18年度以降最低となることが見込まれている。現地報道によると、インドでは従前、30年までの達成目標として、ガソリンのエタノー

ル20%混合 (E20) を掲げてきたが、目標より5年早くE20を達成したとされている。また、25年9月に同国政府は、25/26年度に国内の製糖工場などがサトウキビジュースや糖蜜からエタノールを無制限に生産することを許可する通知を発出しており、今後の動向が注目されている。砂糖輸出量は、砂糖の減産や輸出制限の継続により、375万トン (同14.5%減) とかなり大きく減少が見込まれている。

(注) 真菌の感染によって引き起こされ、茎の内部の腐敗や褐変により、サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされる。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,544	5,243	5,243	▲ 5.4
サトウキビ生産量	481,599	455,898	443,707	389,847	389,847	▲ 12.1
砂糖	生産量	38,559	35,389	28,132	28,132	▲ 18.9
	輸入量	427	1,687	2,608	2,843	▲ 9.2
	消費量	29,516	30,078	29,970	29,970	▲ 3.6
	輸出量	12,468	8,646	3,577	3,746	▲ 14.5
	期末在庫量	7,934	6,285	8,615	5,874	▲ 31.8
	期末在庫率	18.9	16.2	24.3	17.4	6.9ポイント減

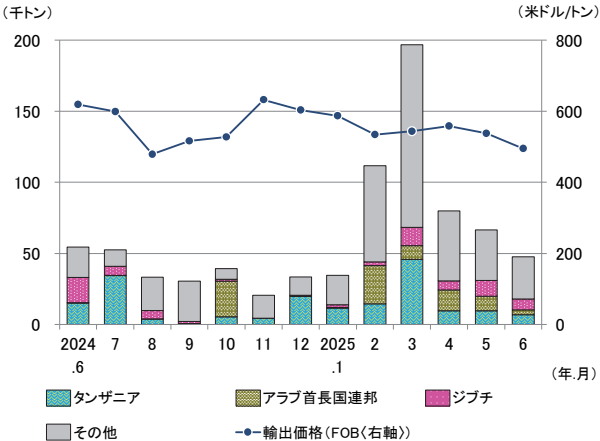
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

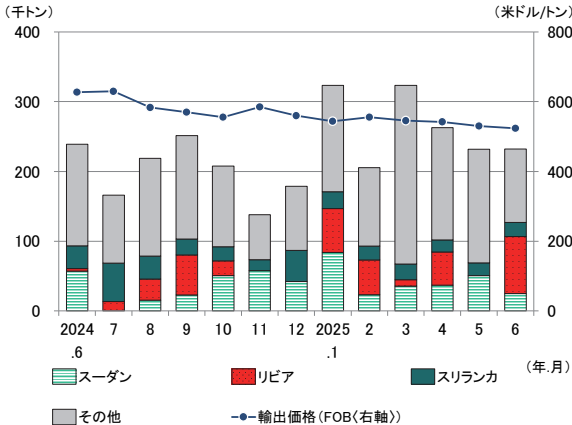
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



中国

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha（前年度比7.8%増）

生産量：7354万トン（同0.6%増）

【てん菜】

収穫面積：22万ha（同29.3%増）

生産量：1346万トン（同43.5%増）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1207万トン（同12.0%増）

輸入量：621万トン（同17.0%減）

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール（前年度比7.8%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サト

ウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区の高温干ばつ傾向により、7354万トン（同0.6%増）とわずかな増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、生産者が需要や価格の優位性により、大豆やトウモロコシなどの競合作物から転

換したことで、22万ヘクタール（同29.3%増）と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積の増加と良好な生育状況により、1346万トン（同43.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜増産を背景に1207万トン

（同12.0%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されているものの、国内生産の改善見通しから、621万トン（同17.0%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

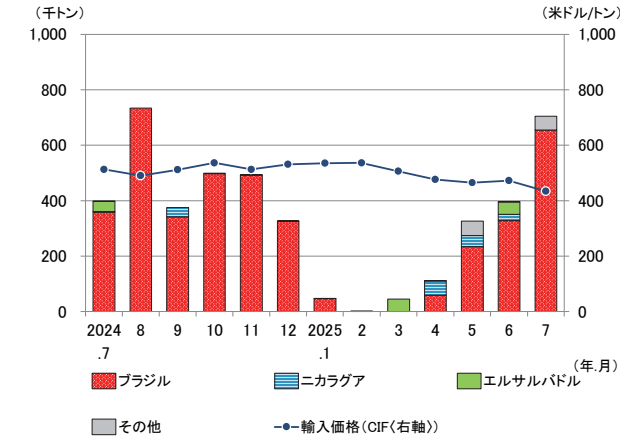
(単位：千ha、千トン、%)

年度		2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,119	1,102	1,095	1,180	1,180	7.8
サトウキビ生産量		72,136	62,595	73,132	73,537	73,537	0.6
てん菜収穫面積		144	182	167	216	216	29.3
てん菜生産量		7,070	8,719	9,377	13,460	13,460	43.5
砂糖	生産量	10,337	9,699	10,773	12,067	12,067	12.0
	輸入量	6,972	5,887	7,480	6,044	6,207	▲ 17.0
	消費量	16,632	16,578	16,740	17,064	17,064	1.9
	輸出量	172	201	179	167	165	▲ 7.5
	期末在庫量	15,367	14,174	15,508	16,386	16,553	6.7
	期末在庫率	91.4	84.5	91.7	95.1	96.1	4.4ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」
注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

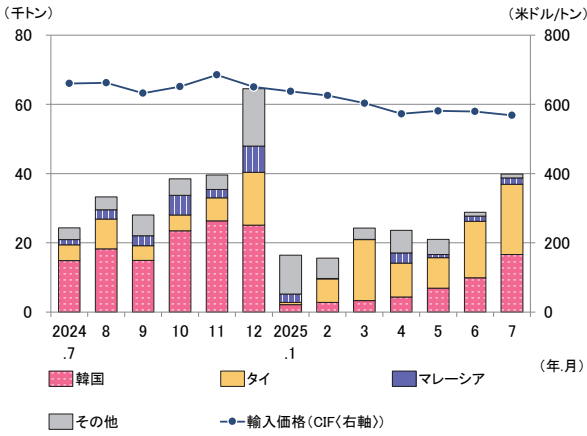
(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移

粗糖



資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。
注3：2025年2月の粗糖輸入量は、千トン未満。

精製糖



E U

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：157万ha（前年度比8.4%増）
生産量：1億1646万トン（同6.0%増）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1731万トン（同6.1%増）
輸入量：129万トン（同40.7%減）

2024/25年度の砂糖生産量はかなりの程度増加、輸入量は大幅な減少見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、播種期間中にEUの砂糖価格が記録的な高水準となったことにより、生産量上位国であるドイツ、フランス、ポーランドを中心に各国で増加したことから、157万ヘクタール（前年度比8.4%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。てん菜生産量は、作付面積の増加と収穫後期の好天により、

1億1646万トン（同6.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜増産を背景に1731万トン（同6.1%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸入量は、域内の増産とウクライナ産砂糖への輸入制限が設けられる見込みであることなどから、129万トン（同40.7%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度		2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積		1,454	1,398	1,447	1,569	1,569	8.4
てん菜生産量		111,391	99,760	109,898	116,458	116,458	6.0
砂糖	生産量	17,345	15,480	16,313	17,310	17,308	6.1
	輸入量	2,146	3,269	2,180	1,264	1,294	▲ 40.7
	消費量	17,976	17,227	16,237	16,672	16,563	2.0
	輸出量	1,264	925	2,206	2,194	2,139	▲ 3.0
	期末在庫量	1,632	2,228	2,279	1,972	2,178	▲ 4.4
	期末在庫率	8.5	12.3	12.4	10.5	11.6	0.7ポイント減

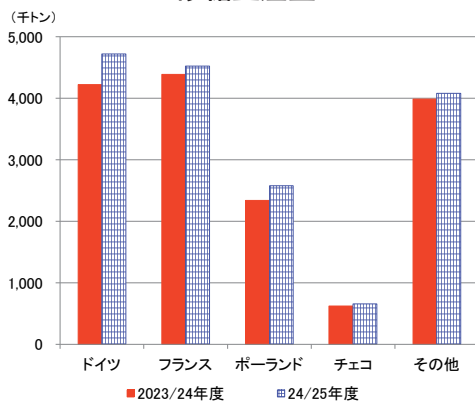
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2024/25年度）（2025年6月時点）

砂糖生産量

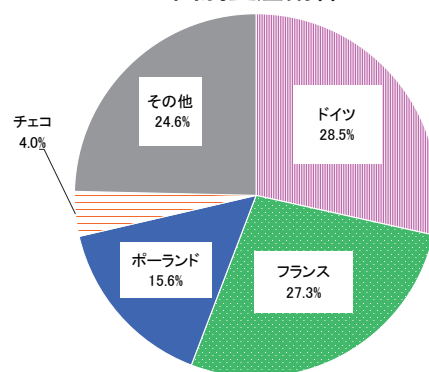


資料：欧州委員会

注1：精製糖換算

注2：2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度は予測値。

国別生産割合



資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向（2025年9月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゅ糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しゅ糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.0%増）

生産量：3005万トン（同8.2%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：405万トン（同7.2%増）

輸出量：305万トン（同11.6%増）

2025/26年度の砂糖生産量はかなりの程度、 輸出量はかなり大きく増加する見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.0%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力が確保されたことに加え、前年度と比較してより生育に適した季節的条件が整うとの見通しから、3005万トン（同8.2%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一部地域では過湿による収穫遅延があったものの、7月の降水量が平年を大幅に下回ったことで収穫進度が加速し、現在は収穫の約25%が完了しているとされる。また、年初に甚大な洪水被害があったクイーンズランド州

の主産地の一つであるハーバート地域では、一部で軽微な品質問題が見られたものの、サトウキビの生育は全体的に良好とされている。

砂糖生産量は、CCS^{（注）}が前年度と比較して低水準であるものの、サトウキビ増産と製糖工場の順調な稼働状況から、405万トン（同7.2%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、305万トン（同11.6%増）とかなり大きく増加が見込まれている。

（注）可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

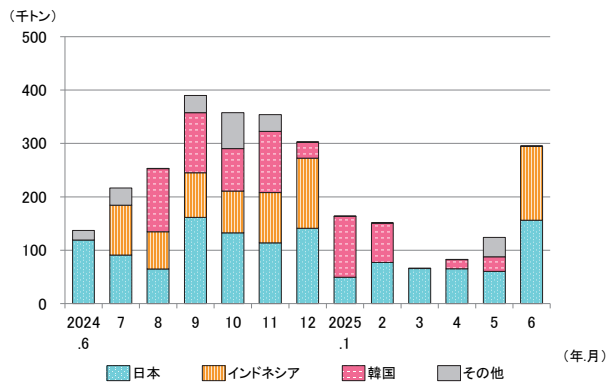
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （8月予測）	2025/26 （9月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		331	341	345	345	345	0.0
サトウキビ生産量		32,593	29,274	27,780	29,788	30,049	8.2
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,779	4,017	4,052	7.2
	輸入量	8	10	14	12	12	▲ 17.1
	消費量	996	995	1,005	1,014	1,014	0.9
	輸出量	2,942	3,356	2,733	3,015	3,050	11.6
	期末在庫量	1,180	966	1,022	1,021	1,021	▲ 0.0
	期末在庫率	30.0	22.2	27.3	25.4	25.1	2.2ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」

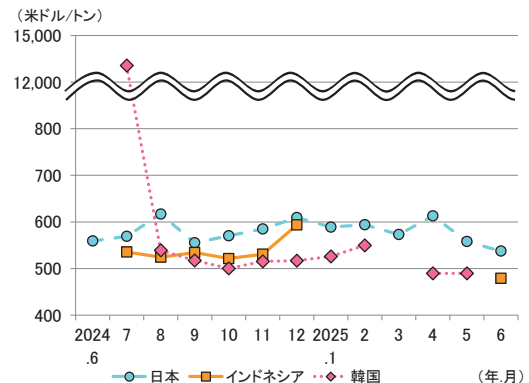
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移
輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の2024年6月、25年3月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

注5：インドネシアの2024年6月、25年1月、2月、3月、4月、5月の輸入量は実績なし。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：154万ha（前年度比4.4%増）

生産量：9204万トン（同12.0%増）

【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：1059万トン（同13.6%増）

輸出量：687万トン（同16.7%増）

2024/25年度の砂糖生産量はかなり大きく、輸出量は大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、154万ヘクタール（前年度比4.4%増）とやや増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件により9204万トン（同12.0%増）とかなり大きく増加が見込まれている。現地報道によると、24/25年度のサトウキビ圧搾は4月8日に終了したとされている。また、サトウキビ・砂糖委員会事務局（OCSB）が焼き畑収穫^(注)のサトウキビを減らすための取り

組みを推進したことで、焼き畑収穫の割合は全体の15%以下に抑えられたとされている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産とCCSの増加により、1059万トン（同13.6%増）とかなり大きな増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に687万トン（同16.7%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) サトウキビの^{しょうとうぶ}梢頭部や葉を燃やした後に収穫する方法。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

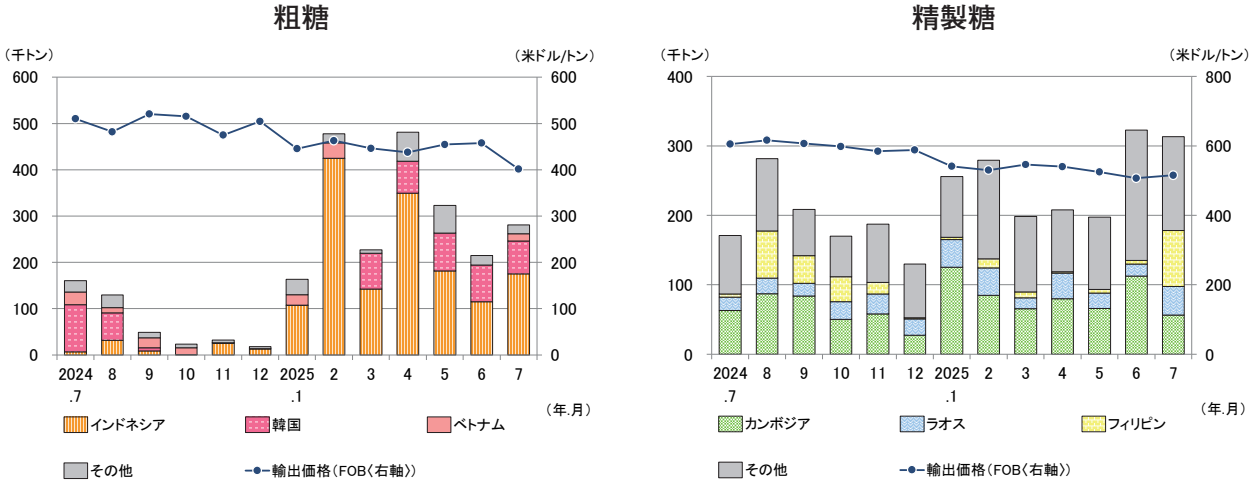
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,475	1,541	1,541	4.4
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	92,043	92,043	12.0
砂糖	生産量	10,643	11,688	10,585	10,585	13.6
	輸入量	148	318	380	365	46.9
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	1.0
	輸出量	7,867	8,002	5,888	6,872	16.7
	期末在庫量	1,951	2,606	3,095	3,955	27.8
	期末在庫率	17.3	23.0	34.1	39.2	5.1ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。